

日本經濟學會
昭和十六年十一月五日御前會議決定

四
下

1

21

對米甲案及乙案

附
昭和十六年十一月五日御前會議決定

2
3
4
14
6
7
8
9



昭和十六年十一月五日御前會議ノ議ヲ決定

105

21

19

105

米 甲 乙 丙

第十九
昭和十六年十一月五日御前會議ノ議ヲ決定

2
3
4
16
17
18
19



104

支那の歴史

104

21

三

(A) 支那ニ於ケル駐兵及遊兵

支那事變ノ爲支那ニ派遣セラレタル日本國軍隊ハ北支及東支
志スヘク領土ノ草率ハ平和成立ト同時ニ日支間平和成立後所屬期間
了ル所ニ從ヒ撤去ヲ開始シ治安確立ト共ニ二年以内ニ之ヲ完
了スヘシ

(註) 所要期間ニ付米價ヨリ質問アリタル場合ハ概テ二十

三 増兵問題
本條ハ左記ノ如ク機和ス

九月二十五日等ニテハ海軍大臣ノ見込トシテ「日本國政府」
海軍大臣ニ於テモ本條ノ行ハルルコトヲ承認スル」ト協正ス

我方ニ於テ自衛權ノ得ザルニ知大ナル憂懼トキコトヲ覺
明セル如ク特別政府ノ自ラ決定スル所ニ依リテ行動スル次第ニ
シテ此ノ場ニ際シテハ斷ニ本國領ノ了承ヲ得タルモノトリト思考スル旨

三 増兵問題
本條ハ左記ノ如ク機和ス

104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114

